

年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	3 年	技術・家庭科 家庭分野

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p>◎ 生活に必要な基礎的な「家庭」について理解を深め適切に活用する能力を養います。</p> <p>◎ 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えます。</p> <p>◎ 生活を工夫し、創造する能力を養います。</p> <p>◎ 大きな災害に備え、衣生活で工夫できることについて考えます。</p> <p><家族と家庭生活></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族と家庭生活とのかかわりについて、関心をもって学習活動に取り組もう。 ・幼児の心身の発達や遊びの特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について考えよう。 ・家庭や家族の基礎的な機能について理解し、家族関係をよりよくする方法を考えよう。 ・販売方法の特徴や消費者保護について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択・購入および活用ができるようになるよう。 ・自分の生活が環境に与える影響について考えよう。
使用教材	教科書：新しい技術・家庭 家庭分野 （東京書籍）

2 評価の観点および方法

	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
①生活への関心・意欲・態度	子どもの成長や家族に対する関心を高め、毎時間の学習や体験的な活動に意欲的に取り組む態度をもって学ぼうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や様子 ・課題に取り組む様子 ・プリント等の記入内容 ・授業での発言の内容
②生活を工夫し、創造する能力	幼児の発達に合わせた、おもちゃの工夫を考えることができる。 学習したことを実習や生活の場で生かし、工夫しようとする。また、災害などに備えた家庭生活について考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発言の内容 ・課題に取り組む様子 ・作品製作に取り組む様子 ・プリント等の記入内容
③生活の技能	安全を配慮し、既習の技術を使って効率よく製作ができる。 環境を考えた消費活動の実践ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の提出内容 ・作品製作に取り組む様子
④生活や技術についての知識・理解	家族・家族生活や消費生活などを理解し、その知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストおよび小テスト

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
一 学 期	わたしたちの消費生活と環境 <ul style="list-style-type: none"> ・生活の必要なもの ・商品の選択と購入 ・消費生活と環境 わたしと家族・家庭と地域 <ul style="list-style-type: none"> ・わたしと家庭生活 中学生になるまで 子どもの成長 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活と遊び ・幼児の成長～体の発達～ 	① 身近な販売方法の特徴や利点と問題点について関心をもつことができる。 ② 支払いについて特徴を理解し、生活の中での問題点と結びつけて考えることができる。 ③ 物資の選択・購入・活用・廃棄について、環境に配慮した消費生活を考え、工夫しようとする。 ④ 消費者の一人として、家庭生活と環境とのつながりを理解している。 ① 家族についての考えを深める。 ② 自分がどのように成長してきたかを振り返り、さまざまな人びとのかかわりや経験によって成長してきたことを理解できる。 ③ 幼児に関心をもち、幼児にとっての遊びの意味を理解できる。 ④ 幼児の体の発育の特徴を理解できる。 ⑤ 幼児の運動機能の発達の様子を理解できる。
二 学 期	子どもの成長 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の成長～こころの発達～ ・生活習慣 ・幼児の生活に役立つもの 	① 幼児の情緒やことば、社会性の発達の特徴を理解する。 ② 幼児の基本的な生活習慣の重要性について理解できる。
三 学 期	子どもと家族や周囲の人びと わたしと家族・家庭と地域 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の働きを考えよう ・家庭生活と地域 	① 幼児の発達には周囲の人の接し方や環境からの影響が大きいことを理解できる。 ② 家族関係をよりよくするための方法を具体的に考えることができる。 災害時に備えた地域や家庭生活での準備を考えることができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 ・学習課題をとらえ、頭と体と心をしっかり使おう。 ・作品づくり及び調理実習においては、忘れものをせず、安全面に気をつけて取り組もう。 ・授業での発問などには、積極的に参加して発表しよう。 ・ファイル・ワーク等の提出物はきちんと記入し期日を守って提出しよう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での仕事を積極的に手伝おう。 ・自分の成長や身近な人の成長について振り返ってみよう。 ・新聞やニュースに関心を持って、家族について考える機会を持とう。 ・日常生活だけでなく、日頃から災害時の準備についても家族と共に話し合っておこう。

